

は じ め に

戦後五十数年の間に、わが国では経済や科学技術が著しい発展を遂げ、生活が豊かで便利になるとともに、核家族化や少子・高齢化の進行など、社会環境や生活様式が大きく変化してきました。これらの著しい変化は、子どもたちの教育環境に大きな影響を及ぼし、学校をはじめとする教育の在り方についても、変革を求めています。

県教育委員会では、地方分権の見地から創造的で活力のある社会を築いてくれる人材を育てるため、本県教育の基本的な在り方を考える議論を進めています。

今回の調査は、これまでの議論の結果生まれた教育改革プランに対する県民の皆様のご意見や教育全般に関わるご意見・ご提言をお伺いするために実施しました。

本報告書はその結果をとりまとめたものでありますが、ここに集約された県民の方々の声は、県教育委員会として今後の教育行政に十分反映させていきたいと考えています。

また、本県教育に直接携わっていただいている教育関係者におかれましても、これらの声をしっかりと受け止め、日々の教育実践に生かしていただきたいと存じます。

最後に、本調査の実施に当たり、お忙しい中ご協力をいただきました県民の皆様及び関係者の方々に厚くお礼を申し上げますとともに、今後の本県教育行政になお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年3月

奈良県教育委員会

教育長 藤 原 昭